



お話しと素踊り

坂東玉三郎

坂東玉三郎の洗練された芸と知られざる素顔に迫る90分！
衣装を着けずその身一つで表現する「素踊り」とトークをご堪能ください。

お話しコーナー 坂東玉三郎

地歌作物「勤行寺」(演奏のみ) 富山清琴 / 富山清仁

地唄舞「雪」 坂東玉三郎 / 富山清琴 / 富山清仁

※休憩なし(約90分)



富山清仁
(三絃・歌)



富山清琴
(人間国宝、三絃・胡弓・歌)

2022

11/3 [木・祝] 15:00開演(14:00開場) フェニーチェ堺 大ホール

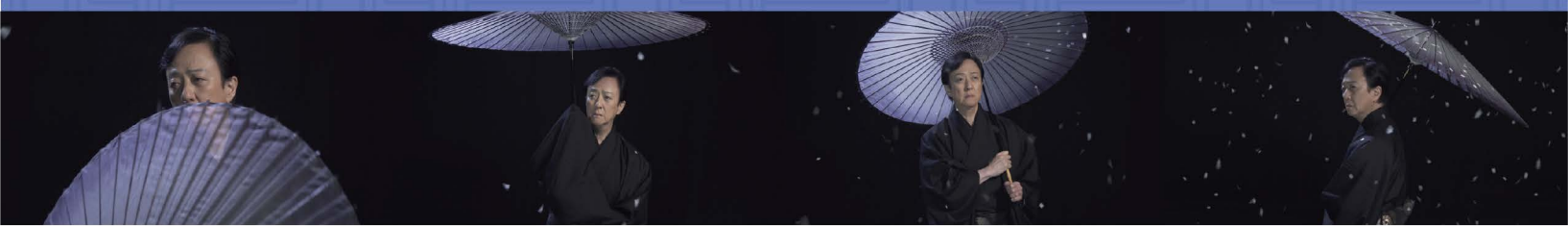
全席指定・税込 | SS席 6,000円 / S席 5,500円 / A席 5,000円 主催:フェニーチェ堺(公益財団法人堺市文化振興財団)

チケット予約 | 堺市文化振興財団チケットセンター 0570-08-0089 またはフェニーチェ堺のホームページ、各プレイガイド ほか

お問い合わせ | フェニーチェ堺 072-223-1000 (9:00~20:00) [休館日 第1・3月曜(祝日の場合は開館)] ※この番号では、チケットのご予約は承っておりません。

※未就学児入場不可 ※やむを得ない事情により公演内容が変更となる場合があります。 ※車いす席は堺市文化振興財団チケットセンターでご予約ください。 ※新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じた「感染拡大防止対策」を実施しております。

一般発売 7月23日(土) 10:00





皆様、この度はフェニーチェ堺にて「お話と素踊り」の会開催の運びと相成りました。素踊りは地唄の「雪」でございます。歌舞伎役者としては、素踊りで皆様に舞踊をお目にかけるのは大変珍しい機会でございます。過去には、振付家の大先輩が素踊りで様々に踊られるということがありましたが、やはり歌舞伎役者は扮装をして、お化粧をし、鬘を被って皆様にお目にかけることが本来の形となるのでございます。しかしこの度は皆様からのご要望があり素踊りの「雪」を舞わせていただくことになりました。男性の素踊りと申しますと、普段は袴を履いて踊りますのが常識でございますが、今回は地唄ですので、薄く鼠色に染められた白地の着流しでご披露させていただきます。素踊りは自分の持っているもの全てが観えてまいりますし、何も飾ることのない舞台芸術として成り立っております。それだけに緊張も致しますが、また新しい趣として皆様に楽しんでいただければと思います。精一杯務めさせていただきます。何卒ご寛容のご見物程お願い申し上げます。皆様のご来場をお待ちしております。

Sakai Performing Arts Center

坂東玉三郎

坂東玉三郎さんへの質問をお寄せください。お送りいただいた質問の中から当日Q&Aコーナーでお答えします。

質問募集

①ペンネーム／②年齢／③住所(市区町村まで)／④公演当日の座席番号／⑤玉三郎さんへの質問

上記①～⑤をご記入のうえ、メール(fenice-jigyo@sakai-bunshin.com【件名:玉三郎さんへの質問】)またはFAX(072-223-1005)にてお送りください。

10月23日(日)必着



坂東玉三郎(人間国宝、歌舞伎俳優)

1957年12月東横ホール『寺子屋』の小太郎で坂東喜の字を名のり初舞台。1964年6月十四代目守田勘弥の養子となり、歌舞伎座『心中刃は氷の朔日』のおたまほかで五代目坂東玉三郎を襲名。泉鏡花の唯美的な世界の舞台化にも意欲的で、代表作の『天守物語』をはじめ数々の優れた舞台を創りあげてきた。また歌舞伎の枠を超えて、世界の芸術家まで大きな影響を与え、賞賛を得てきた。若くしてニューヨークのメトロポリタン歌劇場に招聘されて『驚娘』を踊って絶賛されたのはじめ、アンジェイ・ワイドやダニエル・シュミット、ヨーヨー・マなど世界の超一流の芸術家たちと多彩なコラボレーションを展開し、国際的に活躍。映画監督としても独自の映像美を創造。2012年9月に、歌舞伎女方として5人目となる重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定、また2013年にはフランス芸術文化章最高章「コマンドゥール」を受章した。



富山清琴(人間国宝、三絃・胡弓・歌)

1950年、初代富山清琴の長男として東京に生まれる。73年、東京藝術大学を卒業。81、83、89、92、94年、国際交流基金派遣使節の一員として西欧諸国を巡演。86、89、91年、文化庁芸術祭賞受賞。2000年、富山清琴を襲名し、生田流清音会の家元を継承。04年、日本芸術院賞受賞。06年、松尾芸能賞優秀賞受賞。09年、重要無形文化財保持者(人間国宝)認定。11年、紫綬褒章受章。18年フランス芸術文化勲章シュヴァリエ受章。公益社団法人日本三曲協会名誉会長。



富山清仁(三絃・歌)

1983年、二代富山清琴の長男として東京に生まれる。88年、初舞台。2006年に学習院大学法学部を卒業、同年より父の代稽古を勤め、現在に至る。公益社団法人日本三曲協会理事、生田流協会理事。



チケット予約

フェニーチェ堺

WEB [フェニーチェ堺 検索 https://www.fenice-sacay.jp](https://www.fenice-sacay.jp)

TEL 堺市文化振興財団チケットセンター 0570-08-0089

※一部携帯・CATV接続電話・IP電話からはご利用いただけません。

窓口 フェニーチェ堺チケット窓口(9:00~20:00)

※堺市立梅文化会館・東文化会館・アルテベル(美原文化会館)窓口でも購入できます。
[窓口販売は一般発売日の翌週月曜日より、残席がある場合のみ]

プレイガイド

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード:513-411]

ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード:52091]

イープラス <https://eplus.jp/sf/fenice-sacay/>

公演に関するお問い合わせ

フェニーチェ堺
Sakai Performing Arts Center

072-223-1000(9:00~20:00)

[休館日:第1・3月曜(祝日の場合は開館)]

※この番号では、チケットのご予約は承っておりません。

アクセス

フェニーチェ堺(堺市民芸術文化ホール)

〒590-0061 大阪府堺市堺区翁橋町2-1-1

南海高野線 なんば~堺東 約10分/堺東駅から徒歩約8分